

市政に対する一般質問

〓〓〓9名の議員が質問〓〓〓

12月定例会の一般質問は、12月14日・15日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

松野 久郎 成年後見制度について

四竈 英夫 市内の温麺業界の振興について

角張 一郎 第六次白石市総合計画の推進について

高子 秀明 学校給食と学力の関連および食育における重要性について

大森 貴之 本市におけるマイナンバーカードの普及・活用について

佐藤 龍彦 子ども医療費助成の拡充について

菊地 忠久 情報発信について

佐藤 秀行 子育て支援・少子化対策事業について

佐久間儀郎 学校給食費の無償化について

成年後見制度について

松野 久郎



〔質問〕本市の現状と課題について伺う。

〔答弁〕〔長寿課長〕成年後見相談を含めた権利擁護の相談件数は、令和3年度は563件と増加しており、制度の説明や関係機関へつなぐ支援を行なっている。状況が悪化した後、相談されるケースもあることから、今後さらに成年後見制度を利用できるように進めていく。

〔質問〕制度を分かっていたため、周知活動をどのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕〔長寿課長〕広報誌への掲載、一般市民や民生委員を対象に研修会を毎年開催している

ほか、出前講座や本市作成のエンディングノートによる周知を図り、早期の相談につなげられるよう進めていく。

◎令和5年度予算編成に向けての見通しについて

〔質問〕総括的および重要事項としての取り組みについて伺う。

〔答弁〕〔市長〕重要事項としては、スマートインターチェンジおよび周辺整備事業、行政のデジタル化、子育て支援策に取り組む必要があると考える。

行政デジタル化については、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、推進を図る。子育て支援策では、国や県の補助金を活用し、安心して子育てができる支援体制の整備や

地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的に、団体等の支援事業を検討している。また、来年度より、通称「白石きぼう学園」が開校する。子どもたちの学びの機会を確保し、次世代を担う人材の育成に努める。

来年度からの市立病院では、指定管理者と協力し、地域医療を良いものとするよう取り組んでいく。

◎修学旅行を活用したシビックプライドの醸成について

〔質問〕修学旅行先を姉妹都市にする場合、助成はできないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕姉妹都市、友好都市への修学旅行はシビックプライド醸成に貢献するとともに、故郷の地を結びつける思い出として子どもたちの心に深く残るものと考えられる。助成については前向きに検討する。